

With コロナ集でもり読書

『大鏡』道真VS時平 10

国史は天皇の事績の一部始終を記す帝紀である。法制度改定、外国使節との交渉、五位以上の官人の人事や死没記事、非日常の出来事、天文記事などが書かれるが、特に天文異変、疫病災などは天皇の徳を測る指標として、元根拠ともなるので必須項目である。『大鏡』は別格として、44代元正と廷臣不平等の政権の真像の浮石落下など。完成時の奉書に『善を鑑し悪をいましめ万葉に伝えて鑑としなさん』とあるように、代々伝えるお手本戒めがその意義役割だった。「官報を閉じこんだよ」(内藤湖南)とも評される政務記録は前例情報の宝庫であり、王権示威とはまた別に、天皇が政務を執る上での不可欠な参考書の役割も果たした。

58代光孝の死後、子の宇多は臣籍降下から異例の皇族復帰で20才で踐祚、30才で醍醐1才に譲位した。この非藤原腹の親子のもとで六番目の国史『日本三代実録』は完成を見る。三代表録は天皇の詔勅、臣下の上文の原文や年中行事を豊富に掲載している。他の国史に比べてより資料的性格を強めている。彼らには、それがあつたべき国史の姿があつたのだから。宇多の意図は、道真が撰修した892年成立『類聚国史』により、明確に見ることが出来る。類聚は六国史の記事を神祕、帝王、後宮、政治などの事項別に分類し年代順に収録したもので、膨大な六国史を手軽に検索できるようにした国史便覧である。彼らのこうした国史への志向は、藤原の論議とはまた別なところで、自らの親政を確立する為のものだったのかもしれない。宇多・醍醐の頃は律令制に基づく官人のあり方が転換する時期に当っていた。(註：道真や時平のまじ家柄・職歴・昇進が、貴門分野が固定された時代、政務全体より担当分野に精通していればよい官人にも、類聚は便利ツールだったろう。)

類聚は時代が求めるものだった。儀式行事の厳格な遂行を重視した醍醐は、儀式行事に詳しく時平とともに儀式体系を整備したが、これも親政確立の一環だったのだから。道真の類聚はよりスムーズに果たされることになったと思われる。親子天皇はまた、日記を書いた。例えば『醍醐御記』は政治的内容ではなく天皇の職務日誌的なものだが、公事記録の官職がちゃんとあるにも拘わらず、なぜ天皇は日記を書いたのか。『新国史』中止は宇多・醍醐没後だったが、彼らは自分達の帝紀は書かれたい、国史は続かないと予見していたのだから。自ら日記を残すべき必要性を感じていたのである。とにかく、彼らは日記という形で自らの帝紀を書いた。だが、彼らに帝紀を書いたつもりから、たら面倒な国史編纂なんてやめれば、となつても考えられる。どちらが真実だろうか。いずれにせよ、続日本紀が掲げた国史の意義役割は、天皇の日記と類聚国史で代替可能というところにある。註：道真・時平、遠藤隆夫・国史。



みしま高典を説く 高月フミコ

「童話から童話へ」

2 母とバラ女学校

小出正吾回想録(19)

私の母正吾は明治九年十二月二十日、熱海の相模屋、石渡要作の次女として生まれた。三島とは一つ越えた温泉場の旧い家だったが私たちの家はと遠い昔からの親戚であった。明治十六年の七月、七歳の正吾は、私の祖父市兵衛の養女として入籍し、私の父道也の妹として育てられた。明治十六年といえ、市兵衛がその月に洗礼を受けたので、五月には大里パールを体験して帰ってきた年である。

明治二十年一月九日、正吾は奥野昌綱牧師によって洗礼を授けられ、翌二十一年、バラ女学校開校とともに、十二歳で新入生となり、寄宿舎に入ったが、ふと裏二階の窓から外を眺める

沼津駅北口にまた国鉄沼津機関区(36)

1946年、昭和21年9月13日、9・15首切り撤回ストライキを前に湯河原に東京鉄道局運輸部、新橋管理部各現場の運行責任者が集まりストライキダイヤの検討作成を行い完成させた。この頃は、各駅の現場長も組合員で、当直助役、指導助役などダイヤ作成にたずさわる者は全員組合員で組合の方針に従いストライキダイヤを作成させた。こうして、準備万端の中9月13日、午前10時より最終交渉が始まり、妥協点に達し午後1時半からの交渉で職員局長が次の

今、静岡県内に子どもをコロナワクチンから守ろうという動きが広がっている。そのアクションは大阪府東大津市長や医師らによって立ち上げられた「子どもワクチンプラットフォーム」という全国に広がる会と連動し、議員、市民共にその賛同者を増やしています。

開発してからまだ1年のワクチンにどのような有害な影響があるのか、あるいはないのかは分かっていません。例えば、「ワクチンによる心筋炎や心膜炎が若い人に見られるが、その頻度は非常に少ない」と発表されています。しかし、軽症や無症状のケース、有症状でも診断を見逃すことは容易に想像できます。なぜなら心筋炎や心膜炎は専門医が自覚症状から疑い、心臓超音波検査によって確定するのですが、現状のワクチン接種現場では、このように十分な観察と対応はほとんど不可能です。年齢の低い子どもに接種した場合に心筋炎や心膜炎がさらに増えるのではと懸念されます。

「子どもたちにコロナワクチンを打たせてはいけない」という理由①子どもがコロナに感染しても、重症化や死亡するリスクは、ほぼ0%。②開発してからまだ1年のワクチン。どのような影響があるかわかっていない。③このワクチンには中長期的な安全性データがない。日本の未来を託す子どもに接種するワクチンの安全性は、高齢者よりもはるかに厳しくすべきです。数年以上かけて安全性を確立しなければなりません。現状はほとんど状況です。予防接種にはリスクを明確に上げ、賛同いただける方は090-18332-8878 アサバまでご連絡または携帯死にメッセージください。グループラインに招待します。(浅羽)

この少女は非常に文才に恵まれていたらしく、特に和歌が好きだったが、この少女の耳に毎日聞こえてきたのは新設バラ女学校の生徒たちの讃美歌であった。また横町の道に賑やかにかける女生徒たちの元気な話し声や、時には外人たちの話し合い英語らしい不思議な抑揚の声であった。

操さんのあまりに嬉しそうなお顔を、家族たちも市兵衛の顔を、おぼろげに覚えていた。頼みをおぼろげに承知して、操さんはキヤサリンの親友になつたばかりでなく、バラ女学校に入学して毎日私の家の裏庭から通うことが出来るようになった。私の母の話によると、この操さんは、不幸な身体にもめげず、たいそう聡明で、またやさしい人柄であったという。

この少女は非常に文才に恵まれていたらしく、特に和歌が好きだったが、この少女の耳に毎日聞こえてきたのは新設バラ女学校の生徒たちの讃美歌であった。また横町の道に賑やかにかける女生徒たちの元気な話し声や、時には外人たちの話し合い英語らしい不思議な抑揚の声であった。操さんのあまりに嬉しそうなお顔を、家族たちも市兵衛の顔を、おぼろげに覚えていた。頼みをおぼろげに承知して、操さんはキヤサリンの親友になつたばかりでなく、バラ女学校に入学して毎日私の家の裏庭から通うことが出来るようになった。私の母の話によると、この操さんは、不幸な身体にもめげず、たいそう聡明で、またやさしい人柄であったという。操さんは、未知の外人キヤサリンに接し、新しい希望をもって肉体の不自由に打ち克ち、やがて京都の和歌の師の元へ出ていったのだったが、不幸にして、ついに夭折してしまったのであった。(前号からの続き)

読者の皆様へお知らせ

市民ひろば新聞は2015年3月15日に創刊号を発行以来、8月と12月を休刊月として、ほぼ毎月1回、年に10回程度発行を続け、前号で70号に至りました。スタッフ一同高齢化により、ここにきて発行ペースを落とすことになりました。今後は2ヶ月に1回程度の発行となり、ご了承を申し上げます。次回は7月、その後は9月、11月、1月、3月となる予定です。<バックナンバー> http://4hiroba.web.fc2.com/

沼津市と外原地区焼却場問題

沼津市は、日本初め自治体による分別収集、資源化が誕生した市として有名です。昭和50年から始まった「沼津方式」は、分別した資源、混ぜれば「ゴミ」というスロガンと共に全国に広がりました。この素晴らしい取り組みの背景にはゴミ焼却場建設について近隣からの強い反対運動がありました。この反対運動の中で画期的な解決方式が生まれました。反対運動は、大気汚染等を心配する清水町外原地区と沼津市との間で議論を重ねた結果として、昭和49年に

建設されることになったのが現焼却場です。いろいろ問題もあるが今回建設直しの時は、候補地から除外する。公園にするから納得してほしいという内容だ。昭和49年11月に沼津市と外原地区の交渉した「覚書」の主な内容は、①将来一切増設新設をしない。②沼津市長、町長等が代わっても効果力はあると認められた。③沼津市と外原地区の区長は、「二度と焼却場を建てない」という約束を守ってほしいと訴え続けました。しかし沼津市としては区長のこの態度が邪魔だった。平成25年度の区長が決められた。平成25年度の区長から区長の統括事務書が22組中15組の区長に決まらなかった。しかし、新区長を決める推薦委員会は受け入れられず、9月の区長交代に繋がりました。現区長、沼津新焼却場に対し「静観」を表明しています。

沼津市は、日本初め自治体による分別収集、資源化が誕生した市として有名です。昭和50年から始まった「沼津方式」は、分別した資源、混ぜれば「ゴミ」というスロガンと共に全国に広がりました。この素晴らしい取り組みの背景にはゴミ焼却場建設について近隣からの強い反対運動がありました。この反対運動の中で画期的な解決方式が生まれました。反対運動は、大気汚染等を心配する清水町外原地区と沼津市との間で議論を重ねた結果として、昭和49年に建設されることになったのが現焼却場です。いろいろ問題もあるが今回建設直しの時は、候補地から除外する。公園にするから納得してほしいという内容だ。昭和49年11月に沼津市と外原地区の交渉した「覚書」の主な内容は、①将来一切増設新設をしない。②沼津市長、町長等が代わっても効果力はあると認められた。③沼津市と外原地区の区長は、「二度と焼却場を建てない」という約束を守ってほしいと訴え続けました。しかし沼津市としては区長のこの態度が邪魔だった。平成25年度の区長が決められた。平成25年度の区長から区長の統括事務書が22組中15組の区長に決まらなかった。しかし、新区長を決める推薦委員会は受け入れられず、9月の区長交代に繋がりました。現区長、沼津新焼却場に対し「静観」を表明しています。

ウクライナ人道支援コンサート&講演会

2022年6月5日(日) 開場12:30 開演13:15 会場 アクシスカイツらぎ (伊豆の国市長岡総合会館) 主催 ウクライナ人道支援コンサート&講演会実行委員会 連絡先 090-5617-3223(石田)、060-8868-2902(神田)、090-5009-3640(堀)

参加費 前売 1000円 当日 1200円 高校生 500円 収益金はウクライナ難民支援に寄付します。

労働相談受け付けます! 三島ふれあいユニオン 首切り解雇、残業代未払い 職場でのパワハラ・セクハラ 一人で悩まないで相談してください 三島ふれあいユニオンは 全力であなたをサポートします 電話:090-4216-8417 Eメール:hrsuis@yahoo.co.jp

沼津アルファス産 生はちみつ みつはちひろば

SUN TO MOON サントムーン稲田川 しゃりっこ 岩崎米穀しゃり工房

米屋が握る本格おむすび 本館1F 営業時間 10:00~20:00 http://www.iwabei.co.jp/shari/